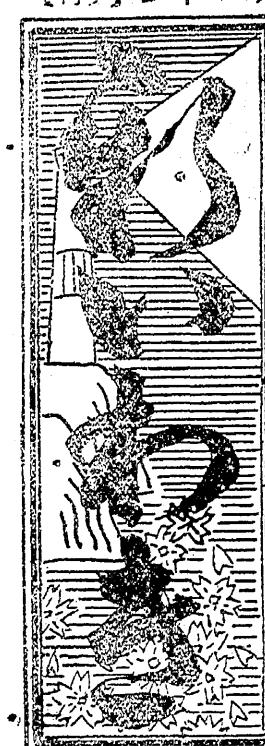


古錦町の跨切に

取付が終って近く使用す

自動警報器を設置



休日	吉原大祭日
新月	廿五日既望
朔日	廿四日既定廿五日銭
節氣	十五日銭
印判人年各政事	二日銭
半南山中任	福島縣
半南山中任	新潟縣
新月	新潟縣
着手	一通四〇銭
鑿金鑄銀人	二十銭
通常に熟成し桶	三十銭
通常に熟成し桶	三十銭
つてあるに拘ら	三十銭
着手の模様がな	三十銭
富局では極力早	三十銭
てあるが植付前	三十銭
に就て郡駐在橋	三十銭
記の如く語つた	三十銭
水に保ち苗を強	三十銭
こと、水はこ	三十銭
安飽和液にて除	三十銭
害虫をなすこと	三十銭
と、其他雜草や	三十銭
除は除虫菊、木	三十銭
硫酸ニコチン	三十銭
液の撒布、誘蟻	三十銭
等である	三十銭
毒業和あらず會	三十銭
の男	三十銭
い、酌婦	三十銭
石城郡磐崎村の小野田炭礦	三十銭
から同村第一小學校に通す	三十銭
る道路は近年屢々破損しそ	三十銭
の都度人夫を傭つて改修に	三十銭
努めてゐたが過般の大雨に	三十銭
また、決済破損の個所を	三十銭
改修の奉仕的労働をなした	三十銭
元二百名は去る七日これが	三十銭
するので同村過學兒童の父	三十銭
らす成すこと殆	三十銭
難に陥り昨年九	三十銭
後大阪から	三十銭
い、越えて煉瓦	三十銭
てゐたが之また	三十銭
を初め	三十銭
氣を養つて	三十銭
悪いので遂に強	三十銭
近の各所に昨年末から本年	三十銭
五月末にかけてコソ泥漿々	三十銭
としてありその手口の同じ	三十銭
大政友の造作は日に日	三十銭
總裁が大黒柱となつたの	三十銭
歪んで死るので、原總裁	三十銭
提灯から察すると所居あ	三十銭
つて退行の午前二時頃發作	三十銭
れある、も一つの横死は	三十銭
朝三時頃のすり貨物列車	三十銭
が	三十銭
鎌田トンネルに入	三十銭
る刹那飛込んだものらしく	三十銭
渡邊うん方抱酌婦で宮城縣	三十銭
伊具郡丸森町生れ安達きみ	三十銭
を有し日頃一層の	三十銭
不景氣で客のない	三十銭
のを悲觀し遂に死を覺悟し	三十銭
たと富人の居る所であるが	三十銭
南星頭を轡斷され全身數ヶ	三十銭
十日木村病院に應急手當を受	三十銭
房の擦過打撲傷を内六丁	三十銭
云はれてゐる	三十銭
怪しい品物	三十銭
檜坑口附近から洋服一着	三十銭
盗みたる外數十件のコソ	三十銭
を齎してゐたことが判明	三十銭
署で餘取調べや	三十銭
と云ひ去る八日前記入由	三十銭
と睨み手配中の所略九日	三十銭
後四時頃内郷村大字白水	三十銭
懲罰を徘徊する舉動不審の	三十銭
時住所不定次城縣那珂郡出	三十銭
は村の生れ無職鈴木徳(出)	三十銭
と云ひ去る八日前記入由	三十銭
と睨み手配中の所略九日	三十銭
後四時頃内郷村大字白水	三十銭
懲罰を徘徊する舉動不審の	三十銭
時住所不定次城縣那珂郡出	三十銭
は村の生れ無職鈴木徳(出)	三十銭
賣主搜查	三十銭
相馬郡大野村生れ石城郡	三十銭
相馬郡大字御厩字下野三五	三十銭
物商上野春吉(出)は昨九	三十銭
午前十一時頃同村大字綴	三十銭
内に於て相馬郡山上生れ	三十銭
重雄と自稱する住所姓名	三十銭
詳の男からセル單衣・洋	三十銭
銀指輪等を金六十五銭で	三十銭
ひ受けたこと發覺して	三十銭
署の取調べを受けてゐる	三十銭
右の品物は赃品の疑ひあ	三十銭
前記賣渡人を捜査中であ	三十銭
桑蚕視察	三十銭
内務部長	三十銭
荒川精一君の	三十銭
三木士投	三十銭
原一山總裁が東京驛頭に	三十銭
岡の児及に斃れ、高橋達	三十銭
總裁が大黒柱となつたの	三十銭

故遠藤助役の
弔慰金一千四十圓

